

大阪公立大学 生活科学研究科
デザイン人間工学研究室報告会

くらしの はなし

人を見つめて、
暮らしと体験をかたちにする

2026

10月3日(土) **13:30~17:00**
(受付開始 13:00, 途中入退場自由)

UR森之宮ビル1階 ほとりで
(大阪市城東区森之宮1-6-85)

主催：
大阪公立大学生活科学研究科
デザイン人間工学研究室

お問合せ先：
大阪公立大学生活科学研究科
土井俊央 (tdoi@omu.ac.jp)

参加
無料

誰でも参加
できます

参加登録はこちら



くらしのはなし

大阪公立大学デザイン人間工学研究室報告会

デザイン人間工学研究室は、人を深く理解することから、製品・UI・サービス・空間のより良い体験を探究しています。本報告会では、学生の研究成果に加え、検討中の取り組みもご紹介します。デザインやUX、人間工学に関心のある方、新しい視点や共創のきっかけを探している方など、どなたでもお気軽にお越しください。

口頭発表プログラム

13:00
Opening
受付開始

13:30
Session 1
研究室紹介「人を見つめ暮らしと体験を研究する」
～デザイン人間工学研究室の問いと取り組み～

進行中の卒業研究の紹介

- ・居住空間における居心地の良い体験/パターンの研究
- ・避難所生活を支えるピクトグラムのデザイン提案
- ・メンタルモデルに着目したコンセプト評価方法の検討
- ・日韓のウェブデザインにおけるローカライゼーション

14:30
Session 2
UXに関する探索的研究

- ・脳活動計測による製品利用体験のUX評価の試み
- ・オフィスワークにおけるチェア利用の体験価値分析
(株式会社イトーキ(本学共創パートナーズ)との共同研究)

15:30
Session 3
進行中の修士研究の紹介
～より良く暮らすための試行的研究～

- ・活動がコンサマトリーとして経験されるプロセスの検討
- ・課題を自分ごととして捉えるためのデザイン研究

※口頭発表は会場展示(ポスター)の一角で、ポスター発表と並行して行います。口頭発表中でも自由にポスターを観覧・対話いただけます。

会場展示の見どころ

4つのテーマに分類された約25の研究・課題成果を展示いたします。口頭発表セッションの合間でも、発表中でも構いませんのでぜひご観覧ください。展示エリアには学生がおりますので、ポスター発表の聴講・対話などいただければと思います。

まちなし

まちや社会の中での体験に着目し、身の回りをより良くするデザインを考えます。

(観察調査から捉える駅内コンビニの体験価値、ラフ集合を用いた箱詰め洋菓子のパッケージデザインの分析 など)

しごとのはなし

働く人の行動や価値観に着目し、より働きやすい環境や製品体験を探ります。

(椅子が空間に馴染んでいると感じられる要因の調査、新しい操作技術の評価を分ける個人特性の分析 など)

まなびのはなし

学びや体験のしぐみに着目し、理解や成長を支えるデザインやサービスを考えます。

(小学生が学習アプリ利用において抱える操作上の問題、ユーザに適したゲーム要素による動機づけの創出 など)

やすらぎのはなし

住環境や日常の行動に着目し、暮らしに寄り添い自分らしくあれる環境を考えます。

(日常の記録がもたらす価値と新しい記録方法の提案、プラスチック製日用品を考え直すためのUXリサーチ など)

アクセス

JR大阪環状線・大阪メトロ森ノ宮駅より徒歩5分

※大阪公立大学森之宮キャンパス内ではありませんのでご注意ください。



デザイン人間工学研究室および土井俊央(生活科学部・准教授)の情報については研究室ホームページをご覧ください。

